

議員活動量の定性的・定量的把握の実例

1 福島町議会

表（おもて）に現れる活動（本会議，委員会，各種行事への出席など）と表に現れない活動（本会議等に付随する質問準備や議案の精読，住民接触など）を整理し，福島町議会議員の標準とすべき活動日数を確認した。

- ・表に現れる活動については，議会事務局において管理する記録に基づき整理した。
- ・表に現れない活動については，議員の申告に基づき整理した。

※ 「議員定数と議員歳費に関する答申（福島町議会基本条例諮問会議）」のP7，P19～P23参照

2 会津若松市議会

公的支援と公務性から議員活動を4つの領域に区分し，その領域ごとに会津若松市議会議員の活動範囲を取りまとめた上で，モデル的な議員活動日数を求めた。

- ・法律や条令に基づく会議への出席以外の議員活動については，具体的な活動項目ごとに活動日数を求めた。
- ・実績のほか，将来において確実に予測される活動項目についても活動日数を求めた。
- ・市民との意見交換会での意見を受け，議員有志による議員活動実態調査を基に精査・検証し，一旦算出したモデル的な議員活動日数185日を169日に修正した。

3 三重県議会

アンケート調査及びヒアリングにより，議員がどういう活動をどれだけ時間をかけて行っているかを把握し，公的支援の対象となる議員活動時間数を求めた。

- ・アンケート調査は，各月について4，5名ずつになるよう調整の上，全議員51人が1か月分を分担することとし，1年間を対象として行った。
- ・分担する月について，毎日の活動内容（3時間単位）を議員活動分類表（22分類）から選択し，記入した。
- ・各月ごとに時間数集計を回答者数で割って平均化し，各月の平均値を12か月分合計して年間活動時間数を求めた。
- ・数字に現れた活動時間数や書面による意見だけでは議員の実態を十分把握することが困難なため，議員20名からヒアリングを実施した。

※ 福島町議会，会津市議会議会については報告書からの読み取り及び電話聴取により，三重県議会については報告書からの読み取りにより，まとめた。